

## イスノキ（マンサク科）

NPO法人グラウンドワーク八尾理事  
齊藤 侑三



分布は本州西南部、四国、九州の暖地で寒さに弱い木だ。山口県萩市の城下町では多く家が生け垣にイスノキを使っていた。潮風に強い木だから生け垣に使っているのだろうか。八尾市では信貴山権現社の近くにある民家塀の上に生け垣がある。イスノキは高さ15m位の常緑高木で葉に虫こぶがあるので見分けがつく。中には果実の様な虫コブが着くことがある。11種類の虫（アブラムシ）がコブを作っており、虫（アブラムシ）の種類によって、コブが出来る位置や形が違うのが不思議だ。

虫が出た穴を吹くとヒョウと音が出るので“ヒョンノキ”という別名がついている。